

ケアビジネスパートナーズの方原田です。

一昨日の6月11日、「骨太の方針2019」の原案が示されましたね。

当然ながら、我々介護経営に携わる人間にとって深く関連する内容も多々、含まれています。経営者の皆様は是非、下記内容をご確認くださいませ。

https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201906/11keizaishimon.html

では、本日のメルマガに入らせていただきます。

■ ■ 「私はこの箇所が気になりました」～九州地区・A社長より～

● 先日のメルマガでご紹介させていただいた、「理念と経営」6月号掲載記事からの抜粋。サッカー日本代表の元監督で、現在は(株)今治・夢スポーツの会長を務められている岡田武史氏と、多摩大学大学院 名誉教授であられる田坂広志先生の対談記事から抜粋させていただきますのですが、

● その後、九州地区の介護経営者(A社長)より、「私も愛読者です」というコメントと共に、A社長ご自身が気になって赤線を引かれた箇所について共有いただく機会がありました。(あらためて気づきをいただきました、A社長、ありがとうございます！)

● このお話、ひょっとすると本メルマガにお付き合いをいただいている皆様にも私同様、気づきをお感じいただけるかもしれない？という想いの元、本日は是非、A社長からうかがった部分を皆様にも共有させていただきたいと思えます。「技術やシステムも大事ですが、本当に勝負を分けるのは、小さなことです」という、岡田氏の発言についてです。

● 「戦術やシステムも大事ですが、本当に勝負を分けるのは、ほとんどが小さなことなんです。2010年のワールドカップまで、日本代表は自国で行われた試合以外では一勝もしていなかったのですが、チームの戦術やシステムの問題ではなく、敗因のすべてが

● 「あの選手がここでスライディングしていたら負けていない」といった小さなことだったのです。すなわち、日頃からそうした小さなことをきちんとしているかどうか、勝敗を分けるのです(中略)」

● 「ですから、100パーセントダッシュだと言ったのに80パーセントで走った選手がいたら私は怒ります。「コーンの外を回れ」と言ったら「外」なんです。内側を走るようでは駄目なんです。実際の距離は、内側と外側で大して変わりません。でも、違う。コーンの外を回ることがどれだけ大事か。それは「モラル」です」

● 「運というのは誰にでもどこにでも平等に流れています。それをつかむか、つかみ損ねる

か。私は自分でつかみ損ねておいて「運がない」と言っている人をたくさん見てきました。だから、「君がたった1回、コーンの内側を回ったせいで運をつかみ損ねて、ワールドカップへ行けないかもしれない。(中略)俺はそれが嫌なんだ」と厳しく叱ります」

●「(モラルとルールはどう違うか?という質問について)モラルはルールと違って強制的にはなく、自然にできなければいけない。それは建物で言えば基礎です。どれだけ戦術という素晴らしいビルディングを建てても、基礎がグラグラしていたら勝てません」

●「少々低い家でも、基礎がしっかりしているほうが勝ちます。ある選手がスライディングをしなかったという「ミス」ではなく、スライディングしないことを許すチームの「モラル」が勝負を分けるのだと思います」……

●……さて、上記内容、皆様はどのようにお感じになりましたでしょうか?日々のマネジメントにおいて、我々経営者はどこまで“モラル”を重視しているでしょうか?また、それはどのような考動に現れているでしょうか?少しでも心に引っ掛かりを感じられた方は一度、時間を取り、あらためて思考・考動を再点検してみてくださいもいいかもしれませんね。以上、何かのお役に立てれば幸いです。

皆様は今日、どんな1日を過ごされるのでしょうか?

では、今日も互いに頑張ってまいりましょう!

今朝もお付き合いただき、ありがとうございました。

◆運営会社:株式会社ケアビジネスパートナーズ

〒100-0005

東京都千代田区丸の内2-3-2

郵船ビルディング1階

メール:contact@carebp.com

URL: <http://carebp.com>

TEL: 03-6869-3435

FAX: 050-3588-6129

～(株)ケアビジネスパートナーズ経営理念～

介護市場の健全な発展に力を尽くすことを通じ、豊かな高齢社会の実現に貢献します。